

行雲流水

No.272 令和4年12月19日発行

「小さなこと」を続ける

校長 寒河江 正人

2学期の最終週となった。

生徒諸君、教職員の皆さん、おつかれさま。ありがとう。

今年一年間、続けてこれたことがある。

それは、「**朝の清掃**」。

朝7時に校内を見回ったら、始める。

最初は、生徒昇降口と職員玄関の**掃き掃除**。

終わったら、次は、コモンホールと廊下の**モップがけ**。

それは、**地味な「小さなこと」**。

それは、**目立たない「小さなこと」**。

朝の爽やかな空気を浴びながら、
自分なりに、あれこれ工夫して、
少しずつ、少しずつ、楽しみながらやる。

生徒昇降口のごみは、**季節によって、少しずつ変化すること**を知った。

校舎内の風の流れによって、**どこに、ほこりの吹きだまりがしやすいか**を知った。

きれいになった**生徒昇降口と職員玄関**を見る。

きれいになった**コモンホールや廊下**を眺める。

朝は、生徒昇降口をきれいにして、生徒諸君を迎えたい。

ほこりの吹きだまりがないきれいな校内で、一日の生活をスタートさせたい。

毎日、絶えず来校するお客さまをきれいな職員玄関で迎えたい。

ほこりの吹きだまりのないきれいな校内で、生徒諸君の学習の様子を見てもらいたい。

それが、「**小さなこと**」を続ける**励み**となる。